

学習内容報告書 フォーマット

学校名	玉野市立玉原小学校
授業者	妹尾 佳南

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

環境問題について調べよう。(渋川海岸の環境について調べよう)

1-2. 学年

5年

1-3. 教科 (単元を実施する教科を全てお書きください)

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

今年度は、臨時休業の影響を受けて、すべての年間計画を見直しながら学習活動を行っていく必要があった。総合的な学習についても5月下旬まではまったく行うことができなかった。学校行事についても同様であった。例年であると、海の学習は、渋川海事研修所の主催事業に参加するというスタイルで行ってきた。ただし、今年度は、コロナの感染拡大防止のため臨時休業の関係があり、1泊2日ではなく日帰りでの事業に変更された。一斉臨時休業に伴う授業時間の確保は本校にとっても重要な課題であった。ただ、この状況においても、海の学習をぜひ児童に体験させたいという願いと、海に親しみながら効果的かつ効率的な学習活動とするため、新たな活動として地域及び外部指導者と協働して環境問題について考える内容として、企画・実施することとなった。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

単元設定の理由

・本校は、身近に美しい瀬戸内海が広がる恵まれた環境であるが、なかなか児童がそのすばらしさや人々が環境整備に努力していることなどをよく知らない現状がある。そこで、5年生で行う海の学習を良い機会とし、実際に渋川海岸にすむ生き物を調べる体験活動を通して、あらためて地域の環境保全について考えさせたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

1 粘り強く課題を解決する力

・自然との関わりの中から、課題を見つけ出し、G T (外部講師) に質問したり、資料に基づいて調べたりしながら、友達と協力して解決しようとする。

2 調べたことを分かりやすくまとめ、友達や下級生に伝えようとする力

1-7. 単元の展開（全 10 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1時間	「海について考えよう」 1 「海」について、何を思い浮かべますか。 2 海の写真を見て何を感じましたか。 3 音を聞いて何を感じましたか。 4 今日の感想	<u>教師の指導</u> ・プレゼン資料（美しい海の写真やイルカの様子）により、海の美しさのイメージを豊かにしていった。 ・海の音（波の音）を聞かせて、児童に新たな海のイメージを膨らませた。 <u>主な評価</u> （知識、思考）児童のワークシート記入内容で評価
1時間	「汚れた海について考えよう」 1 汚れた海の写真を見て何を感じましたか。 2 みんなの身近な玉野の海、渋川はどんな様子だろう。 → 予想 3 今日の感想	<u>主な評価</u> （知識・技能） ・渋川の海について、様々なイメージが出てきた。前時（美しい海）のようなイメージを持つ児童は少なかった。 実際に渋川に行くことについて、児童に期待感が持てるようにした。
1時間	「海の学習事前学習」 海洋生物について	<u>教師の指導</u> ・渋川海岸にすんでいる生物を調べることで、水質や生物環境がわかることを伝える。 ・指標となる生物について確認する。 ・安全に体験活動を行うための約束を確認する。
4時間	「海の学習」 午前 カッター訓練 午後 海洋生物学習 渋川海岸の干潟の生物を調べよう。	<u>外部連携</u> ・渋川海事研修所 ・アスエコ（海の環境学習支援団体） ・たまはら地域学校協働本部 単元中のキー、詳細は別紙のとおり
1時間	海の学習を終えて」（振り返り） 1 友達のこと 2 自分のこと 3 学習のこと 4 これからのこと 5 カッター訓練について伝えたいこと 6 海洋生物学習について伝えたいこと	<u>主な評価</u> （主体的な学び） ワークシートの内容、1友達のこと ～ 4これからのことについては、キャリア教育でのふりかえりと同じ項目としている。

2 時 間	<p>「発表資料を作成しよう」</p> <ul style="list-style-type: none">・海洋生物学習について発表資料を作成する。・写真やイラストを使って構成を工夫する。	<p><u>主な評価</u>（思考、判断、表現）</p> <ul style="list-style-type: none">・構成を工夫しながら、発表資料を作成している。・相手に分かりやすい発表原稿を考えている。・簡潔で分かりやすい発表原稿を作成している。
-------------	--	---

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ① 渋川海岸の自然に親しみ、海や干潟の生き物の多様性や生態系に関心を持つ。
- ② 採集した生き物について、事前学習や資料をもとに調べたり、外部講師の話を聞いて環境と関連づけたり確認したりする。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 干潟の学習で、気をつけることや道具の使い方について説明を聞く。</p> <p>2 班に分かれて、干潟の生き物を採集する。 ／児童は、時間いっぱい生き物採集に夢中で取り組んでいた。体験学習を一人一人とても楽しんでいった。</p> <p>3 海洋博物館広場に戻り、採集した生き物について、まずは、班ごとに資料を用いながら班ごとに調べる。 ／アスエコの宮畑さんからの資料をもとに、友達と意見交流しながら、積極的に学習に参加していた。</p> <p>4 前玉野海洋博物館館長、坂口さんからの説明を聞いたり、質問したりする。</p>	<p>○事前学習で確認した安全に体験活動を行うための留意事項について確認する。</p> <p>○児童 3 2 名、引率教員 4 名（教頭、担任 2 名（1 名は特別支援学級担任）、養護教諭）、外部講師 2 名、地域ボランティア 5 名、海事研修所職員 2 名で児童への指導支援と安全管理について役割分担した上で連動した指導・支援を行う。／担任二人で児童の活動をよく観察する。教頭は全体に注視しながら、活動記録写真を撮影する。目標①の評価、行動観察及び記録写真確認による評価</p> <p>○班ごとに安全に楽しんで活動できているか確認し適宜指導・支援をする。</p> <p>○危険な生物が含まれていることを想定し、巡回指導しながら指導・支援を行う。／目標②の評価、行動観察による評価</p> <p>○本日の活動のまとめとアスエコ宮畑さんからの提供資料「瀬戸内海の海岸生物調査マニュアル」に基づき、指標生物の数による水質評価について外部講師坂口さんからの説明を聞きまとめとする。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・干潟の生き物を実際に採集し、外部講師から説明を受け、児童たちの満足感、達成感が感じられた。
事前に、地域コーディネーターの小林さんを通じ、外部講師として活動の専門家を招いたり、ボランティアによる安全管理ができる環境づくりを行ったりした。学校だけではなく、地域と協働で活動を計画することにより、今回の教育活動が大変豊かになり、成果として、全員の児童が自分から進んで活動ができ、事後の振り返りや発表の活動へのつながりが大変スムーズにできていた。
今回採集した指標生物による渋川海岸の水質は、「大変きれいである」と評価されたときに、児童のほぼ全員から拍手がわき起こり、振り返りシートで多くの児童がそれを素直に喜んでいたので、今回の活動は評価でき、次年度以降についても継続して行ってほしいと考えている。

4. 今後の課題

- ・活動を継続していきたいが、事前の打ち合わせと下見準備などスケジュール調整がスムーズにできるよう資料を残しておくことがポイントである。
- ・当日の天候や潮の状態に左右されることがある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

カッター訓練



海辺の生物を探そう



事後学習（元館長さんからの説明）



発表資料の確認

